

新世紀人文学論究

第9号
Feb. 2025

新時代の学術誌、新刊号近日刊行！！

B5判 270頁 頒布価格 2,000円（税込み）
編集：新世紀人文学研究会 発売：亜細亜総合企画工房

◆目次◆

【思索の言葉】

日本独自の平和外交で世界に貢献を！！ 山口 実

【特集にあたって】日本語教育史研究の最前線

- ・日本語教育史研究の方法と課題—— 民族の血と涙の史実を知るために —— 編集委員会
- ・日本の回教工作と「蒙疆政権」における西北回教聯合会の教育事業 酒井順一郎
- ・植民地統治期新竹州旧港公学校における児童の就学 白柳弘幸
- ・『毎日新報』連載「國語講座」「日常會話」「國語ノチカミチ」について 上田崇仁
- ・戦時期の日本の新聞は南方諸地域の植民地教育施策をどう伝えたか
—— 日本語教育、皇民化教育を中心に —— 田中 寛
- ・マレーシアにおける日本語教育史の役割と可能性
—— 交流学習・アンケート調査からの考察 —— 檜山純子
- ・テキストアナリシスによる明治期日本語教科書宏文学院
『日本語教科書』の検証 伊藤孝行
- ・日本語教育史研究と日本語教育、平和教育の接点
—— 戦争の記憶×俳句交換がもたらすもの —— 松永典子
- ・日本ローマ字会の「大東亜戦争」——時局と言語運動—— 安田敏朗
- ・1945年までのタイにおける日本語教育史の中のチェンマイ日本語学校
—— チェンマイでの調査とともに ——
山口雅代・วลัยพร กาญจนการุณ・ธนาภัทร บัญญู · 川口泰広

【言語学・外国語教育研究】

- ・承認をあらわす「も」——「係り」と「間投」のはたらきの再検討—— 石橋教行
- ・ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)から見たタイ人日本語学習者の
口頭運用能力の捉え方—— 日本語スピーキングテストの結果を踏まえて —— 森 康眞
- ・中日両言語の可能表現についての認知言語学的考察 韓 樹坤
- ・「最」「最为」と程度副詞との共起について 時 衛国

【言語文化・文学研究】

- ・言語障害を抱える認知症高齢者の介護についての一考察
—— 大連を例に、実態の考察から解決策を探る —— 孫 宇雷
- ・日本における「松竹梅」文化の受容研究—— 四字熟語やことわざを中心に —— 宋 睿
- ・讃岐守道真の「閑居」詠—— 江州司馬白居易の閑適詩との比較 —— 田 云明
- ・高橋和巳「日々の葬祭」小論
—— 『我が心は石にあらざ』論への架橋として —— 東口昌央

ご照会は ⇒ 新世紀人文学研究会 hiroshitanaka724@gmail.com